

1.	③	11.	④	21.	②	31.	③	41.	②
2.	④	12.	②	22.	①	32.	④	42.	③
3.	①	13.	②	23.	④	33.	③	43.	④
4.	①	14.	②	24.	③	34.	②	44.	③
5.	③	15.	④	25.	③	35.	④	45.	④
6.	②	16.	②	26.	①	36.	②	46.	④
7.	③	17.	③	27.	③	37.	④	47.	④
8.	①	18.	④	28.	①	38.	④	48.	④
9.	④	19.	③	29.	①	39.	②	49.	①
10.	②	20.	①	30.	①	40.	③	50.	④

1.

解答 ③

【解説】

正解は③の`sincerely`で、「心から、誠実に」という意味の副詞です。うそ偽りのない、本心からの気持ちであることを表します。`I sincerely apologize for the mistake.`（その間違いについて心からお詫び申し上げます）。また、フォーマルな手紙やビジネスメールの結びの言葉として、`Sincerely yours`,``や単に`Sincerely`,`が広く使われます。他の選択肢は、①`seriously`が「まじめに、深刻に」、②`secretly`が「こっそりと」、④`separately`が「別々に」という意味です。

◆補足：形容詞形は`sincere`（誠実な、心からの）です。`a sincere apology`（心からの謝罪）や`a sincere person`（誠実な人）のように使います。

2.

解答 ④

【解説】

正解は④の`succeed`で、主に二つの意味があります。一つは「成功する」で、`succeed in ~`の形で「～に成功する」と表現します。もう一つは「（～の）跡を継ぐ、継承する」で、`succeed to ~`（～の地位を継ぐ）や`succeed 人`（人の跡を継ぐ）の形で使います。`He worked hard and finally succeeded.`（彼は熱心に働き、ついに成功した）。`The prince will succeed to the throne.`（王子が王位を継承するだろう）。他の選択肢は、①`exceed`が「～を超える」、②`proceed`が「進む、続行する」、③`suggest`が「～を提案する」という意味です。

◆補足：名詞形が意味によって変わる点に注意が必要です。「成功」は`success`、「継承」は`succession`となります。また、成功した人は`a successful person`、後継者は`a successor`と言い、形が異なります。

3.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を取り消す、中止する」です。動詞の`cancel`は、一度決めた予定、予約、注文などを「取り消す、中止する」ことを意味します。`I had to cancel my flight due to a family emergency.`（私は家庭の緊急事態のため、フライトをキャンセルしなければならなかった）。②「～を祝う」は`celebrate`、③「～を隠す」は`conceal`、④「～を慰める」は`comfort`が適切な単語です。

◆補足：名詞形は`cancellation`（取り消し、キャンセル）です。`Is there a cancellation fee?`（キャンセル料はかかりますか?）。類義語の`call off`も「（予定など）を中止する」という意味の重要な句動詞です。`They called off the game because of the rain.`（彼らは雨のため試合を中止した）。

4.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を適合させる、順応する」です。動詞の`adapt`は、新しい状況や環境に合わせて、自分自身や何かを「順応させる、適合させる」ことを意味します。`Animals have to adapt to their environment to survive.`（動物は生き残るために環境に適応しなければならない）。②「～を採用する、～を養子にする」は`adopt`で、`adapt`とつづりが非常に似ているので注意が必要です。③「～を加える」は`add`、④「～を認める」は`admit`です。

◆補足：`adapt to`で「～に順応する」という形でよく使われます。名詞形は`adaptation`（適応、順応、改作）です。`e`と`o`の一字違いの`adapt`と`adopt`の使い分けは、英語学習者にとって大きな課題の一つなので、例文ごと覚えるのがおすすめです。

5.

解答 ③

【解説】

正解は③の`microwave`で、「電子レンジ」を意味します。`micro-`（マイクロ、極小の）と`wave`（波）が組み合わさった言葉で、マイクロ波という電磁波を使って食品を加熱する調理器具のことです。`Just put the dish in the microwave for three minutes.`（そのお皿を電子レンジに3分間入れてください）。他の選択肢は、①`microscope`が「顕微鏡」、②`microphone`が「マイク」、④`telescope`が「望遠鏡」という意味です。

◆補足：`microwave`は動詞として「～を電子レンジで加熱する」という意味でも使われます。`I'm too lazy to cook, so I'll just microwave something.`（料理するのが面倒だから、何かチンするものにするよ）。`a microwave oven`と`oven`を付けて言うこともあります。

6.

解答 ②

【解説】

正解は②「～に近づく」です。動詞の`approach`は、ある場所、時間、あるいは状態にだんだんと「近づく、接近する」という過程を表します。`The train is now approaching the station.`（電車はまもなく駅に到着します）。`As the deadline approached, she started to feel stressed.`（締め切りが近づくにつれて、彼女はストレスを感じ始めた）。①「～に到着する」は`arrive at`や`reach`、③「～に入る」は`enter`、④「～に触れる」は`touch`です。

◆補足：`approach`は名詞として「接近」の他に、問題などへの「取り組み方、アプローチ」という重要な意味があります。`We need to find a new approach to solve this problem.`（私たちはこの問題を解決するために新しいアプローチを見つける必要がある）。

7.

解答 ③

【解説】

正解は③の`plenty of`で、「たくさんの～、十分すぎるほどの～」という意味です。必要とされる量や数を十分に満たし、さらに余裕があることを示します。数えられる名詞（複数形）と、数えられない名詞の両方に使えます。`There will be plenty of food for everyone.`（みんなのための十分な食べ物があるだろう）。他の選択肢は、①`a number of`～が「たくさんの～」（数えられる名詞のみ）、②`a variety of`～が「様々な種類の～」、④`a portion of`～が「～の一部分」という意味です。

◆補足：`plenty of`は`a lot of`や`lots of`と似ていますが、「有り余るほど十分にある」という満ち足りたニュアンスをより強く表すことができます。`No need to hurry. We have plenty of time.`（急ぐ必要はないよ。時間はたっぷりあるから）。

8.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を取り除く、除去する」です。動詞の`remove`は、ある場所から何かを取り去ったり、汚れ、障害物、制限などをなくしたりすることを意味します。`He removed the stain from his shirt.`（彼はシャツからシミを取り除いた）。②「～を修理する」は`repair`や`fix`、③「～を思い出す」は`remember`や`recall`、④「～を減らす」は`reduce`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：名詞形は`removal`（除去、撤去）です。`remove`は、`take off`（（服などを）脱ぐ）と意味が似ていますが、`remove`の方がよりフォーマルな響きがあり、汚れや障害物など、より広い対象に使うことができます。

9.

解答 ④

【解説】

正解は④の`in the long run`で、「長い目で見れば、長期的には、結局は」という意味です。短期的な視点ではなく、将来的な結果としてどうなるかを述べるときに使う表現です。`This new system will save us a lot of money in the long run.`（この新しいシステムは、長い目で見れば我々に多くのお金をもたらすだろう）。他の選択肢は、①`in the short term`が「短期的には」で対義表現、②`in a long time`が（主に否定文で）「長い間」、③`in the first place`が「そもそも、まず第一に」という意味です。

◆補足：この表現は、投資、健康、学習など、長期的な視点が重要なテーマについて話す際によく使われます。`It may be hard work now, but it will be worth it in the long run.`（今は大変な仕事かもしれないが、長い目で見ればそれだけの価値があるだろう）。

10.

解答 ②

【解説】

正解は②の`healthy`で、「健康な、健康によい」という意味の形容詞です。病気ではなく、心身が健やかな状態であることや、健康を促進するような食べ物や生活習慣を指します。`She looks very healthy and happy.`（彼女はとても健康で幸せそうだ）。`A healthy lifestyle includes a balanced diet and regular exercise.`（健康的な生活習慣には、バランスの取れた食事と定期的な運動が含まれる）。他の選択肢は、①`wealthy`が「裕福な」、③`heavy`が「重い」、④`happy`が「幸せな」という意味です。

◆補足：`healthy`は名詞`health`（健康）の形容詞形です。対義語は、否定の接頭辞`un-`を付けた`unhealthy`（不健康な）です。

11.

解答 ④

【解説】

正解は④の`propose`で、「～を提案する」という意味の動詞です。会議などで、新しい計画やアイデアを正式に検討してもらうために提出することを表します。`I propose that we postpone the decision until the next meeting.`（次の会議までその決定を延期することを提案します）。他の選択肢は、①`suppose`が「～だと思う、仮定する」、②`oppose`が「～に反対する」、③`compose`が「～を構成する、作曲する」という意味です。

◆補足：`propose`は`suggest`と意味が似ていますが、`propose`の方がよりフォーマルで、真剣な検討を求めるニュアンスが強いです。また、`propose to 人`で「(人)に結婚を申し込む、プロポーズす

る」という意味になることも重要なポイントです。名詞形は`proposal`（提案、結婚の申し込み）です。

12.

解答 ②

【解説】

正解は②の`grow`で、人や植物が「成長する、育つ」ことや、経済、人口、問題などが「増加する、大きくなる」ことを意味する動詞です。`The demand for electric cars is growing worldwide.`（電気自動車の需要は世界的に増加している）。他の選択肢は、①`glow`が「(熱や光で) 赤くなる、光る」、③`throw`が「～を投げる」、④`blow`が「(風が) 吹く」という意味です。

◆補足：`grow`の活用は`grow - grew - grown`と不規則に変化します。名詞形は`growth`（成長、発展）で、`economic growth`（経済成長）というコロケーションは頻出です。`grow up`で「大人になる、成長する」という熟語になります。

13.

解答 ②

【解説】

正解は②「～を完成させる、仕上げる」です。動詞の`complete`は、「～を完了する、仕上げる」という意味で、仕事や課題、あるいはフォームへの記入などを最後までやり遂げることを表します。

`Please complete this form and return it to us.`（この用紙に記入を済ませ、私たちに返送してください）。①「～と競争する」は`compete`、③「～を構成する」は`compose`や`consist of`、④「～を比較する」は`compare`が適切な単語です。

◆補足：`complete`は形容詞として「完全な、全部揃った」という意味でも使われます。`The work is now complete.`（その仕事は今や完了した）。副詞形は`completely`（完全に）です。

14.

解答 ②

【解説】

正解は②の`information`で、「情報、知識、知らせ」を意味します。事実やデータ、ニュースなど、伝えられる内容全般を指す非常に重要な単語です。`This website provides useful information for tourists.`（このウェブサイトは観光客向けの役立つ情報を提供している）。他の選択肢は、

①`instruction`が「指示、取扱説明書」、③`invention`が「発明」、④`impression`が「印象」という意味です。

◆補足：`information`は、英語では数えられない名詞（不可算名詞）として扱われる代表例です。そのため、`an information`や`informations`という形にはなりません。「一つの情報」と言いたい場合は

`a piece of information`のように数えます。動詞形は`inform`（～に知らせる）で、`inform` 人 of/about 物事`の形で使われます。

15.

解答 ④

【解説】

正解は④の`publish`で、「～を出版する、発行する」または「(公式に) ～を発表する」という意味の動詞です。本、雑誌、新聞などを印刷して世に出すことや、研究結果などを公に発表することを指します。`The famous author will publish a new book next year.`（その有名な作家は来年、新しい本を出版する予定だ）。他の選択肢は、①`punish`が「～を罰する」、②`polish`が「～を磨く」、③`perish`が「消滅する、死ぬ」という意味です。

◆補足：名詞形は`publication`（出版、出版物）や`publisher`（出版社、発行者）です。`public`（公の）という単語と関連があり、「公にする」というのが`publish`の核となる意味です。

16.

解答 ②

【解説】

正解は②の`be suited for`～`で、「～に適している、～向きである」という意味です。人や物が、特定の目的、役割、状況などに能力や性質の面でぴったり合っていることを表します。`His calm personality is suited for this type of work.`（彼の穏やかな性格はこの種の仕事に向いている）。他の選択肢は、①`be famous for`～`が「～で有名である」、③`be ready for`～`が「～の準備ができている」、④`be known for`～`が「～で知られている」という意味です。

◆補足：`suit`は動詞で「(服などが) ～に似合う」や「(条件などが) ～に適する」という意味です。その過去分詞形`suited`が形容詞として使われています。形容詞の`suitable`（適した）もほぼ同じ意味で、`be suitable for`～`の形で使えます。

17.

解答 ③

【解説】

正解は③「～に手紙を書く」です。`write to`～`は、「～に手紙やメールを送る、～と文通する」という意味の表現です。前置詞の`to`は、手紙が向かう方向、つまり宛先を示しています。`Don't forget to write to me while you are abroad.`（海外にいる間、私に手紙を書くのを忘れないでね）。①「～について書く」は`write about`～`、②「～の隣に書く」は`write next to`～`、④「～の代わりに書く」は`write for`～`などが適切な表現です。

◆補足：`write`は`write 人 物`（人に物を書く）という第4文型の形も取れます。`I wrote him a letter.`は`I wrote a letter to him.`と言い換えることができます。

18.

解答 ④

【解説】

正解は④の`make use of`で、「～を（有効に）利用する、活用する」という意味です。手元にある機会、資源、情報、能力などを、目的を達成するためにうまく使うことを表します。`We should make use of the latest technology to improve our service.`（我々はサービスを向上させるために最新の技術を利用すべきだ）。他の選択肢は、①`make fun of`が「～をからかう」、②`make up for`が「～の埋め合わせをする」、③`make sense of`が「～の意味を理解する」という、それぞれ`make`を使った重要な熟語です。

◆補足：`make use of`は、単に`use`と言うよりも、より意識的・効果的に「活用する」というニュアンスが強いです。`make good use of`や`make full use of`のように、間に形容詞を入れることで「～をうまく利用する」「～を最大限に活用する」と意味を強めることができます。

19.

解答 ③

【解説】

正解は③の`be aware of`で、「～に気づいている、～を知っている」という意味です。ある事実や状況、問題などを認識していることを表します。`You should be aware of the potential dangers.`（あなたは潜在的な危険に気づいておくべきだ）。他の選択肢は、①`be tired of`が「～にうんざりしている」、②`be afraid of`が「～を恐れている」、④`be capable of`が「～する能力がある」という、それぞれ`be ... of`の形をとる重要な熟語です。

◆補足：`aware`は形容詞で、名詞を直接修飾することは稀で、主に`be aware of/that ...`の形で使われます。`I was not aware that I was making a mistake.`（私は自分が間違いを犯していることに気づいていなかった）。名詞形は`awareness`（意識、認識）です。`raise awareness of an issue`（問題への意識を高める）。

20.

解答 ①

【解説】

正解は①「近頃は、今日では」です。`nowadays`は副詞で、過去と対比して、現在の一般的な状況や傾向について述べるときに使われます。`Nowadays, it is common for people to communicate via social media.`（今日では、人々がソーシャルメディアを通じてコミュニケーションをとるのは一般的

だ)。②「時々」は`sometimes`、③「すぐに」は`soon`、④「どこでも」は`anywhere`が適切な単語です。

◆補足：`nowadays`は`these days`とほぼ同じ意味で、置き換えが可能です。文法的には、`nowadays`は文頭または文末に置かれるのが一般的です。`now`、`a`、`day`の3語が組み合わさってきた単語だと考えると、意味を推測しやすいかもしれません。

21.

解答 ②

【解説】

正解は②「適切に、ちゃんと」です。`properly`は副詞で、正しい方法や、社会的に受け入れられている方法で、物事が「きちんと、適切に」行われる様子を表します。`If the machine is not used properly, it can be dangerous.`（もしその機械が適切に使われないと、危険なことがある）。①「おそらく」は`probably`、③「個人的に」は`personally`、④「完全に」は`perfectly`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`properly`は、形容詞`proper`（適切な、ちゃんとした）に`-ly`を付けて作られた副詞です。`Please wear proper attire for the interview.`（面接には適切な服装をしてください）。`properly`は`correctly`（正しく）や`rightly`（正当に）と意味が似ていますが、状況や目的に「ふさわしい」というニュアンスが強いです。

22.

解答 ①

【解説】

正解は①「便利な、都合のよい」です。`convenient`は形容詞で、手間や労力を省けたり、場所が近くてアクセスしやすかったりする状況を表します。また、人にとって「都合がよい」という意味でも使われます。`The new subway line is very convenient for commuters.`（新しい地下鉄の路線は通勤者にとって非常に便利だ）。`Please let me know a convenient time for you.`（あなたのご都合のよい時間を教えてください）。②「慣習的な」は`conventional`、③「自信がある」は`confident`、④「一貫した」は`consistent`です。

◆補足：名詞形は`convenience`（便利、好都合）です。`convenience store`（コンビニエンスストア）はこの単語から来ていますね。「利便性のために」は`for convenience`と言います。対義語は`inconvenient`（不便な）です。

23.

解答 ④

【解説】

正解は④の`price`で、「価格、値段」を意味します。商品やサービスを購入するために支払うお金の額を指します。`The company had to raise the price of its products.`（その会社は製品の価格を上げなければならなかった）。他の選択肢は、①`prize`が「賞、賞品」、②`praise`が「称賛」、③`pace`が「ペース、速度」という意味で、発音やスペルが似ていて紛らわしいので注意が必要です。

◆補足：`price`と`cost`（費用、コスト）は似ていますが、`price`は主に買い手が支払う「売値」、`cost`は売り手がかける「原価、費用」という違いがあります。コロケーションとしては、`a high/low price`（高値/安値）、`a reasonable price`（手頃な価格）、`cut the price`（値下げする）などがあります。

24.

解答 ③

【解説】

正解は③「～に感謝する、～を正当に評価する」です。`appreciate`は、`thank`よりもフォーマルで、相手の行為の価値を深く理解した上での「感謝」を表します。また、芸術作品などの真価を「正しく評価する、良さがわかる」という意味もあります。`We sincerely appreciate your cooperation.`（皆様のご協力に心から感謝申し上げます）。①「～に近づく」は`approach`、②「～に謝罪する」は`apologize`、④「～を承認する」は`approve`です。

◆補足：`appreciate`を使う際の注意点として、`appreciate you`のように直接人を目的語にとることはできず、感謝する対象となる「行為」や「物事」（`your help`、`your kindness`など）を目的語にします。`I would appreciate it if you could ...`（～していただけると大変ありがたいのですが）は、丁寧な依頼表現として非常に重要です。

25.

解答 ③

【解説】

正解は③の`meal`で、「（一回分の）食事」を意味します。朝食（`breakfast`）、昼食（`lunch`）、夕食（`dinner`）など、特定の時間にとる食事を指す一般的な言葉です。`You should not skip meals, especially breakfast.`（食事、特に朝食を抜くべきではない）。他の選択肢は、①`mail`が「郵便」、②`male`が「男性、雄」、④`mean`が動詞で「～を意味する」という意味で、発音が似ているので注意が必要です。

◆補足：`meal`は数えられる名詞です。`I eat three meals a day.`（私は1日に3食食べます）。コロケーションとしては`a light meal`（軽食）、`a heavy meal`（量の多い食事）、`a home-cooked meal`（手作りの食事）などがあります。

26.

解答 ①

【解説】

正解は①の`report`で、名詞として「報告、報告書、レポート」、動詞として「～を報告する、報道する」という二つの重要な意味があります。名詞の例：`Have you finished writing the report?`（レポートは書き終えましたか?）。動詞の例：`He reported the results of the experiment to his boss.`（彼は実験の結果を上司に報告した）。他の選択肢は、②`support`が「支持」や「～を支持する」、③`repeat`が「繰り返し」や「～を繰り返す」、④`passport`が「パスポート」という意味です。

◆補足：名詞の「記者、報告者」は`reporter`です。コロケーションとしては`a weather report`（天気予報）、`a book report`（読書感想文）、`report a problem`（問題を報告する）などがあります。

27.

解答 ③

【解説】

正解は③「環境」です。`environment`は、私たちが住んでいる「(自然) 環境」を指す最も一般的な名詞です。また、人を取り巻く家庭、社会、職場といった、より広い意味での「環境」も指します。`Air pollution has a bad effect on the environment.`（大気汚染は環境に悪影響を及ぼす）。①「政府」は`government`、②「娯楽」は`entertainment`、④「発展」は`development`です。

◆補足：形容詞形は`environmental`（環境の）です。`environmental protection`（環境保護）や`environmental issues`（環境問題）は、現代社会の重要なキーワードです。副詞形は`environmentally`（環境的に）で、`environmentally friendly`（環境に優しい）という形でよく使われます。

28.

解答 ①

【解説】

正解は①「外食する」です。`eat out`は、家で食事をするのではなく、レストランなどの外で食事をすることを意味する句動詞です。`How often do you eat out?`（どのくらいの頻度で外食しますか?）。②「食べ尽くす」は`eat up`、③「早く食べる」は`eat quickly`、④「食べ始める」は`start eating`がそれぞれ適切な表現です。

◆補足：`out`には「外で」という意味があります。`go out`（外出する）や`hang out`（(家の外で) ぶらぶらして過ごす）など、`out`が付くことで「家の外での活動」を表す句動詞はたくさんあります。

29.

解答 ①

【解説】

正解は①「インターネット」です。`Internet`は、世界中のコンピュータネットワークを相互に接続した、巨大な情報通信網を指す固有名詞です。そのため、通常は文のどこにあって最初の`I`を大文字で書き、`the`を付けて`the Internet`と表現するのが一般的です。②「コンピュータ」は`computer`、③「ウェブサイト」は`website`、④「電子メール」は`e-mail`で、これらは`Internet`上で利用できる技術やサービスですね。

◆補足：「インターネットで」何かをすることを表すときは、前置詞の`on`を使います。`I often buy clothes on the Internet.`（私はよくインターネットで服を買う）。`surf the Internet`（インターネットを見て回る）や`browse the Internet`（インターネットを閲覧する）といった表現もよく使われます。

30.

解答 ①

【解説】

正解は①「…だけれども」です。`although`は「…にもかかわらず、…ではあるが」という意味の接続詞で、文と文をつなぎ、逆説の関係（予想される結果とは違うことが起こる）を表します。`Although he is very rich, he is not happy.`（彼はとても裕福だけれども、幸せではない）。②「もし…でなければ」は`unless`、③「…なので」は`because`や`as`、④「…する前に」は`before`がそれぞれ適切な接続詞です。

◆補足：`although`は`though`とほぼ同じ意味で使えますが、`although`の方がよりフォーマルな響きがあります。`though`は文末に置かれることもありますが、`although`は文頭か文中に置かれます。`even though`は`although`をさらに強調した表現で、「…という事実にもかかわらず」という強い逆説を示します。

31.

解答 ③

【解説】

正解は③の`lose one's way`で、「道に迷う」という意味です。`one's`の部分には`my`、`your`、`his`などの所有格が入り、誰が道に迷ったのかを示します。`We lost our way in the complicated subway system.`（私たちは複雑な地下鉄のシステムで道に迷った）。他の選択肢は、①`make one's way`が「(苦労して) 進む」、②`find one's way`が「道を見つける、たどり着く」、④`lead the way`が「先導する、道案内する」という、それぞれ`way`を使った重要な表現です。

◆補足：`get lost`も「道に迷う」という意味で、`lose one's way`よりも口語的で頻繁に使われる表現です。`I'm sorry I'm late. I got lost.`（遅れてすみません。道に迷いました）。

32.

解答 ④

【解説】

正解は④の`apparently`で、「見たところでは～のようだ、どうやら～らしい」という意味の副詞です。確実ではないものの、見聞きした情報や状況から判断すると、そう思われるというニュアンスを表します。文頭に置かれて文全体を修飾することが多いです。`Apparently, the flight has been delayed.`（どうやら、その便は遅れているらしい）。他の選択肢は、①`absolutely`が「絶対に、完全に」、②`accurately`が「正確に」、③`annually`が「毎年」という意味です。

◆補足：`apparently`は、形容詞`apparent`（明白な、見たところの）の副詞形です。`The reason for his success is apparent.`（彼の成功の理由は明白だ）。`seemingly`（見たところ）と意味が似ていますが、`apparently`はより客観的な証拠に基づいているニュアンスがあります。

33.

解答 ③

【解説】

正解は③「ショッピングモール」です。`mall`は、多くの店舗やレストラン、時には映画館などが一つの建物や敷地内に集まった大規模な商業施設を指します。特にアメリカ英語で広く使われます。`The new mall has over 200 stores.`（その新しいモールには200以上の店が入っている）。①「壁」は`wall`、②「穴」は`hole`、④「小道」は`path`や`lane`が適切な単語です。

◆補足：元々`mall`は、散歩などのために作られた、並木道のある遊歩道を指す言葉でした。そこから、歩行者専用の商店街、そして現代の屋内外のショッピングモールへと意味が発展しました。`a shopping mall`や`a strip mall`（小規模な帯状のショッピングセンター）のように使われます。

34.

解答 ②

【解説】

正解は②の`in fact`で、「実は、実際は」という意味です。前に述べたことについて、より詳しい情報や、時には少し意外な事実を付け加えるときに使う表現です。`He says he is busy, but in fact he has a lot of free time.`（彼は忙しいと言っているが、実は自由な時間がたくさんある）。他の選択肢は、①`in short`が「要するに、手短かに言えば」、③`in general`が「一般的に、概して」、④`in case`が「～の場合に備えて」という意味の、それぞれ`in`を使った重要な熟語です。

◆補足：`in fact`と似た表現に`actually`があります。どちらも「実は」と訳せますが、`in fact`は、前の発言を強調したり、訂正したりするニュアンスで使われることが多いです。`The movie was good; in fact, it was one of the best I've ever seen.`（その映画は良かった。実際、今まで見た中で最高の映画の一つだった）。

35.

解答 ④

【解説】

正解は④の`give off`で、「(光、熱、におい、音など)を発する、放つ」という意味の句動詞です。何かはその内部から外部へ、光や熱などを出すことを表します。`The radiator gives off a lot of heat.` (その暖房器具は多くの熱を発する)。他の選択肢は、①`give up`が「～をあきらめる」、②`give in`が「屈服する」、③`give away`が「～を無料で与える、～を暴露する」という、それぞれ`give`を使った重要な句動詞です。

◆補足：`give off`は`emit`という、よりフォーマルな動詞とほぼ同じ意味で使えます。`The chemical plant was emitting a strange smell.` (その化学工場は異臭を放っていた)。

36.

解答 ②

【解説】

正解は②の`be worried about`で、「～を心配している、～について気にかけている」という意味です。まだ解決していない問題や、将来起こるかもしれない良くないことについて、不安な気持ちを抱いている状態を表します。`I'm worried about the future of our planet.` (私は地球の未来を心配している)。他の選択肢は、①`be surprised at`が「～に驚いている」、③`be satisfied with`が「～に満足している」、④`be interested in`が「～に興味がある」という、それぞれ`be` + 形容詞 + 前置詞の形の重要な熟語です。

◆補足：`worry`は動詞で「心配する、心配させる」という意味です。`Don't worry about me.` (私のことは心配しないで)。`worried`は`worry`の過去分詞形が形容詞として使われている形です。`a worried look` (心配そうな顔つき) のように名詞を修飾することもできます。

37.

解答 ④

【解説】

正解は④「サケ、サーモン」です。`salmon`は、食用魚として人気の高い「サケ」を意味する名詞です。`I had grilled salmon for breakfast.` (私は朝食に鮭の塩焼きを食べた)。①「レモン」は`lemon`、②「メロン」は`melon`、③「サラダ」は`salad`です。

◆補足：`salmon`を覚える上で重要なポイントは、`l`の文字を発音しない黙字 (サイレントレター) であることです。発音は「サーモン」ではなく「サモン」または「サマン」に近くなります。また、通常は単数形と複数形が同じ形で、数えられない名詞として扱われることが多いです。

38.

解答 ④

【解説】

正解は④の`economy`で、主に二つの意味があります。一つは、国や地域の「経済、経済活動」です。もう一つは、「節約、儉約」です。`The global economy has been affected by the pandemic.`（世界経済はパンデミックの影響を受けてきた）。`We can make a big economy by using public transport.`

（公共交通機関を利用することで、大きな節約ができる）。他の選択肢は、①`ecology`が「生態学、環境保護」、②`company`が「会社」、③`community`が「地域社会」という意味です。

◆補足：形容詞形は`economic`（経済の）と`economical`（経済的な、節約になる）の二つがあり、使い分けが重要です。`economic policy`（経済政策）、`an economical car`（燃費の良い車）。動詞形は`economize`（節約する）です。

39.

解答 ②

【解説】

正解は②の`because of`で、「～のために、～が原因で」と理由を表す前置詞句です。`of`が付いているため、後ろには名詞や名詞句が続きます。`The game was postponed because of the heavy rain.`（試合は大雨のために延期された）。他の選択肢は、①`instead of`が「～の代わりに」、③`in spite of`が「～にもかかわらず」、④`in addition to`が「～に加えて」という意味です。

◆補足：`because`と`because of`の使い分けが重要です。`because`は接続詞なので後ろに「主語 + 動詞」の文が続きます（`...because it was raining heavily.`）。一方、`because of`は前置詞句なので後ろには名詞が続きます（`...because of the heavy rain.`）。`due to`や`owing to`も「～が原因で」という意味で使われますが、`because of`が最も一般的です。

40.

解答 ③

【解説】

正解は③の`job`で、給料を得るための定期的な活動、つまり「仕事、職、職業」を意味します。数えられる名詞であるのが大きな特徴です。`It is not easy to find a good job.`（良い仕事を見つけるのは簡単ではない）。他の選択肢は、①`work`がより一般的な「働くこと、労働」で数えられない名詞、②`task`が個々の「任務、課題」、④`labor`が肉体的な「労働」を指すことが多いです。

◆補足：`job`、`work`、`task`はどれも「仕事」と訳せますが、`work`は最も広義で不可算名詞、`job`は具体的な職業で可算名詞、`task`は個々の作業で可算名詞、という違いがあります。`part-time job`（アルバイト）、`full-time job`（常勤の仕事）。`Good job!`（よくやった!）は相手をほめる時の決まり文句です。

41.

解答 ②

【解説】

正解は②「～のように思われる、～のようだ」です。動詞の`seem`は、断定はできないものの、外見や状況から判断して、そうらしいという主観的な推量を表します。`He seems to be honest, but I'm not sure.`（彼は正直そうに思えるが、確信はない）。`It seems that we have taken the wrong train.`（私たちは間違った電車に乗ってしまったようだ）。①「～を意味する」は`mean`、③「～を見る」は`see`、④「～を探す」は`seek`です。

◆補足：`seem`の後には`to`不定詞や、`that`節、形容詞が続くことが多いです。`She seems tired.`（彼女は疲れているようだ）。類義語の`appear`も「～のように見える」という意味ですが、`appear`の方がより外見に基づいた客観的な判断、`seem`はより内面的な主観的判断というニュアンスの違いがあります。

42.

解答 ③

【解説】

正解は③の`look up`～で、「(辞書・電話帳・コンピュータなどで情報)を調べる」という意味の句動詞です。知らない単語や情報を見つけ出すために、特定の情報源を参照する行為を指します。`If you don't know the meaning, you should look it up online.`（もし意味が分からなければ、オンラインで調べるべきです）。他の選択肢は、①`look for`～が「～を探す」、②`look after`～が「～の世話をする」、④`look into`～が「～を（詳しく）調査する」という、それぞれ`look`を使った重要な句動詞です。

◆補足：`look for`は、なくした鍵など、どこにあるかわからないものを「探す」のに対し、`look up`は、辞書やデータベースなど、どこを見れば情報があるか分かっている上で、特定の情報を「見つけ出す」というニュアンスの違いがあります。また、`look up to`～となると「～を尊敬する」という全く違う意味になる点も重要です。

43.

解答 ④

【解説】

正解は④「最終的に、結局は」です。`in the end`は副詞句で、いろいろな過程や出来事があった末に、最終的にどうなったかという結果を述べる時に使います。`We considered many options, and in the end, we chose this one.`（私たちは多くの選択肢を検討し、最終的にこれを選んだ）。①「(期間や物の物理的な)終わりに」は`at the end`を使います（例: `at the end of the road`）。②「初めに」は`in the beginning`、③「要するに」は`in short`です。

◆補足：`in the end`は`finally`や`eventually`とほぼ同じ意味で、文頭や文末に置かれます。`at the end`が特定の「時点」を指すのに対し、`in the end`は一連の出来事の「結果」を指す、というニュアンスの違いを理解しておくと良いでしょう。

44.

解答 ③

【解説】

正解は③の`choice`で、「選択、選択肢、選ぶこと」を意味する名詞です。複数のものから一つを選ぶ行為や、その対象、あるいは選ぶ権利そのものを指します。`I had no choice but to agree.`（私には同意する以外に選択肢がなかった）。他の選択肢は、①`voice`が「声」、②`chance`が「機会、可能性」、④`noise`が「騒音」という意味です。

◆補足：`choice`は動詞`choose`（選ぶ）の名詞形です。`choose - chose - chosen`という不規則な活用も合わせて覚えましょう。`make a choice`で「選択をする、決める」という決まった言い方になります。`a wide choice of ~`で「豊富な種類の～」となります。

45.

解答 ④

【解説】

正解は④の`charge`で、非常に多くの意味を持つ単語です。準2級レベルでは、名詞として「料金、請求金額」や「責任、担当」、動詞として「～（代金）を請求する」や「～を充電する」といった意味を押さえておくとう良いでしょう。名詞の例: `The charge for admission is 500 yen.`（入場料は500円です）。動詞の例: `I need to charge my phone.`（携帯電話を充電する必要がある）。他の選択肢は、①`change`が「変化、おつり」、②`chance`が「機会」、③`chart`が「図表」という意味です。

◆補足：`in charge of ~`で「～を担当して」、`free of charge`で「無料で」という重要な熟語になります。クレジットカードでの支払いを`charge`することや、スポーツで「突進する」という意味もあります。

46.

解答 ④

【解説】

正解は④の`organic`で、「有機（栽培）の、オーガニックの」という意味の形容詞です。化学肥料や農薬を使わずに栽培された食品や、それに関連する方法を指します。`This café serves dishes made with organic ingredients.`（このカフェは有機食材で作られた料理を提供している）。他の選択肢は、①`original`が「独創的な、元の」、②`organized`が「几帳面な、組織だった」、③`ordinary`が「普通の、通常の」という意味です。

◆補足：`organic`はもともと「有機体の、生物の」という科学的な意味の言葉です。化学の分野では`organic chemistry`（有機化学）のように使われます。近年、健康や環境への意識の高まりとともに、「オーガニック食品（`organic food`）」として広く一般に知られるようになりました。

47.

解答 ④

【解説】

正解は④の`look into`で、「～を調査する、調べる」という意味です。問題や事件、苦情などの原因や事実関係を詳しく調べることを表します。`The management promised to look into the matter.`（経営陣はその件を調査すると約束した）。他の選択肢は、①`look up`～が辞書やコンピュータで「(情報)を調べる」、②`look for`～が「(なくした物など)を探す」、③`look after`～が「～の世話をする」という、それぞれ`look`を使った重要な句動詞です。

◆補足：`look into`は`investigate`という、よりフォーマルな動詞とほぼ同じ意味で使えます。`into`（～の中へ）という前置詞から、「問題の内部を詳しくのぞき込む」→「調査する」というイメージを持つと覚えやすいでしょう。

48.

解答 ④

【解説】

正解は④の`wrap`で、「～を包む、包装する」という意味の動詞です。プレゼントや食品などを、紙や布などで覆うことを表します。`She wrapped the gift in beautiful paper.`（彼女はその贈り物をきれいな紙で包んだ）。他の選択肢は、①`trap`が「わな」や「～をわなで捕らえる」、②`rap`が「(軽く) コツコツたたくこと」や「ラップ音楽」、③`ripe`が形容詞で「(果物などが) 熟した」という意味です。

◆補足：`wrap`の`w`は発音しない黙字（サイレントレター）です。発音は「ラップ」となります。`wrap up`という句動詞は、「(仕事などを) 終える、締めくくる」という比喩的な意味でよく使われます。`It's almost 5 o'clock. Let's wrap things up.`（もうすぐ5時だ。仕事のまとめに入ろう）。

49.

解答 ①

【解説】

正解は①「絶えず、いつも」です。`constantly`は副詞で、何かが休みなく、あるいは非常に頻繁に繰り返される様子を表します。`This area is constantly changing.`（この地域は絶えず変化している）。②「最近」は`recently`、③「正確に」は`correctly`や`accurately`、④「同時に」は`simultaneously`が適切な単語です。

◆補足：`constantly`は、形容詞`constant`（絶え間ない、一定の）に`-ly`を付けて作られた副詞です。類義語に`always`や`all the time`がありますが、`constantly`は特に、少しうんざりするような繰り返しのニュアンスで使われることもあります。`My phone is constantly ringing.`（私の電話はひっきりなしに鳴っている）。

50.

解答 ④

【解説】

正解は④「～に申し込む、応募する」です。`apply for ～`は、仕事、役職、奨学金、ビザなどを得るために、公式に「～に申し込む、～に応募する」という意味で使われる熟語です。`More than 100 people applied for the position.`（100人以上がその職に応募した）。①「～に感謝する」は`be grateful for ～`、②「～に謝罪する」は`apologize for ～`、③「～に到着する」は`arrive at/in ～`が適切な表現です。

◆補足：`apply`は、後ろに続く前置詞によって意味が変わるので注意が必要です。`apply to ～`となると、「～に当てはまる、適用される」や「(大学など)に出願する」という意味になります。`This discount applies only to students.`（この割引は学生にのみ適用される）。名詞形は`application`（申し込み、応用）です。
